

平成28年度 第7回御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会 会議録

日 時：平成29年3月21日（火）

午後4時30分～午後5時15分

場 所：林業会館 第1研修室

出席委員：横山貴子・小宮山洋子・勝又浩吉・渡邊恵子・小松豊・勝間田和子・小宮山なほみ・平野昭弘・湯山有朋・田口公士・勝又欣也・佐藤正博・根上英志・勝又文弘

アドバイザー：牛山教授（明治大学政治経済学部）

明治大学：黒石啓太

事務局：村松次長、勝又統括、鈴木主事、寺島主事

1 開 会（湯山有朋委員）

2 会長あいさつ

- 3 平成29年度市民協働型まちづくり事業（行政提案部門）提案（資料2－1）  
認知症カフェの運営助成  
担当課：介護福祉課より提案  
団体：（株）陽向より補足意見

委員：支出で消耗品費30,500円とあるが内訳の看板30,000円、コピー用紙代15,000円と合わない。

担当課：記入間違いで内訳がちがう。

委員：飲食代はすべて補助金もちになる？ いつも同じ人になると問題だと思う。その点はどのようにお考えですか？

担当課：ここは日曜日以外ずっと開けて、毎週木曜日にイベント開催し誰でも来れる予定。毎週木曜日誰が来るかはわからなかったからこのような内訳にさせてもらった。毎回無料というわけにもいけないと思うので、行政と話して詰めていきたいと思う。

委員：陽向さんの熱心なご発言は素晴らしいと思って、それに異議を唱えることは全くないのでそこはご承知おきください。行政（介護福祉課）にお聞きしたい。協同組合森の腰商栄会からの協働は荷が重いというコメントが気になった。協働なんだけど行政がこれやれと言ってできなければダメということだと、民間委託と何が違う？

担当課：行政側からこれをやって下さいと言ってそれが荷が重いという話になったわけではない。行政と団体との間で意思疎通がうまくできなかった。

委員：行政提案制度はそもそも難しい。行政が提案して応募してもらって審査して認めたみたいになっているわけなので、それだとどうなの？ということになる。

担当課：昨年の提案会の時点では、落語の他に体操教室や相談会もやるという話を森の腰さんから言ってくださっていたので、やって下さるのかなと思っていた。結局落語しかできない現状になってしまった。何が理由で体操教室や相談会ができなくなってしまったのか、私たち行政側にはわからない。

委員：大変ご尽力されたことはよくわかりますし、ただ各段階でもう少しきちつと言う必要もあったのかなと思うので、ぜひその点は今度ががんばっていただきたい。

団体：私たちが話に行ったのは「それってうちと合うね」と逆に言われたから。私たちは本当にこのことを考えて、もともと改装していて、ぜひ中山の方にみなさんに見に来てもらって現状をみてもらいたいと思う。

委員：以前の団体やるのか？自分達でやりたいと書いてあるが。

担当課：認知症カフェではなく単純な高齢者の集える居場所みたいなものやっ  
ていくのではないかという話を聞いた。

委員：市民が担う公共の活動だからこれは協働ではないと言われるのはどうかと思う。市民が自発的にやる公共的な活動を行政でやらないから協働ではないというのもおかしいと思うのでそこはちょっと気をつけて欲しいと思う。

事務局：来年手をあげないと言われてしまったので事務局で確認しに行ってきた。「一年間行って認知症カフェの運営にとらわれ過ぎてしまい商業施設としての本業が崩れてしまっていたのでここでリセットしたい。ただこの一年間無駄ではなく、やってみたからこそ他のベストなやり方がわかった。今年の経験を踏まえて来年は独自でコミュニティカフェをやって本来の商業施設としての路線・環境・スタンスを取り戻したい」と話していた。

委員：ぜひその団体に協働を全部やめるわけではない、行政とやらないから協働ではないことを伝えていただきたい。

委員：専門的な介護施設は認知症の扱いが長けていると思う。参加者に対する方法はどうか。近くの方が寄って来られる場所なのか、家族が送迎しないと運営できないのかどうか。

担当課：基本的に認知症カフェはいわゆるデイサービスとは違うと考えていただきたい。デイサービスは送迎つきだが、こういった居場所は身近にあるもので、だからこそ歩いて通えるものなので送迎はない。

団体：確かに送迎の問題はこれから出てくると思う。お金をとると法律にひっかかるが、社会福祉協議会でやっている送迎ボランティアを使ってやる分にはできる。根本的に送迎も兼ねてそこに来て認知症の方や家族が落ち着いてもらえるようにしたいが今はできない。何人来るかかわからないし、人件費もかかるので様子を見ながらできればと思う。

委員：行政の提案としては送迎をしなくてもいいとのことなので、今話に出たからと無理に送迎をして本来の目的が損なわれるようならば、できる範囲なるべく長く続けられることの方が大切ではないか。できないことを無理してやる必要はないと思う。

#### 4 協議事項 議事進行：会長

##### (1) 市民協働型まちづくり推進プランについて（資料2－2）

改定体制・スケジュール説明：鈴木

改定内容説明：明治大学 黒石氏

会長：今年度約一年間この推進プランの改正に対してみなさんに大変ご協力いただきましてありがとうございます。このような形で出来上がりましたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

##### (2) 平成29年度予定について（資料2－3）

委員：時間は？

事務局：21日は午後2時、5月25日は9時30分スタートで、委員の方は9時に来てもらうよう考えている。

#### 5 その他

- ・懇親会の案内（鈴木） 18時～
- ・委員任期満了についてのお礼&事務局異動あいさつ（次長より）

#### 6 閉会（湯山有朋委員）